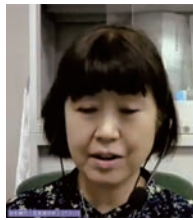


Webセミナー「薬用樹木の栽培と利用」を開催

令和4年10月13日(木)にWebセミナー「薬用樹木の栽培と利用」を開催しました。都道府県や民間企業、大学、研究所等から、93名の方にご参加いただきました。

当日は、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター長 吉松嘉代氏より「薬用植物、生薬、漢方薬、生薬生産の現状、薬用植物資源研究センターの業務内容について」と題した特別講演、また、奈良県産業振興総合センター 産業技術研究部バイオ・食品グループ統括主任研究員 立本行江氏より「奈良県研究分野統合本部におけるキハダの取り組み」と題した特別講演をそれぞれいただきました。



講演中の薬用植物資源研究センター 吉松センター長



講演中の奈良県産業振興総合センター 立本統括主任研究員

吉松センター長からは、薬用植物に関する全般的な基礎から生薬生産の国内外における現状についての説明、薬用樹木であるシナニッケイの組織培養による増殖方法、カンゾウなどの地下部を利用部位とする薬用植物用の特殊な水耕栽培装置の紹介など、基本から応用に至る幅広いお話をいただきました。

また、立本統括主任研究員からは、奈良県の「漢方のメッカ推進プロジェクト」で進めている薬用樹木キハダについて、実と葉の栄養・香氣成分やビタミン含量、機能性や安全性評価、加工食品への応用等、薬用利用以外の部位を食品とするための技術開発を中心に薬用成分、育苗、木材利用や生育地調査についても、幅広く

大変興味深いお話をいただきました。

続いて、森林バイオ研究センターが研究総括として実施している生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業の薬用樹木カギカズラに関する研究の成果報告が行われました。

1. 事業の概要説明

谷口亨(研究総括者 森林バイオ研究センター長)

2. カギカズラの組織培養やさし木によるクローン苗生産
小長谷賢一・谷口亨(森林バイオ研究センター)、伊藤哲男(有限会社イトウグリーン)

3. カギカズラの栽培、収穫、加工調整の効率化の試み
小林泰子・服部侑・三井友宏(三重農業研究所)、伊藤哲男(有限会社イトウグリーン)

4. カギカズラの薬用部位の収量と成分の系統評価
谷口亨・小長谷賢一(森林バイオ研究センター)、岩島誠(鈴鹿医療科学大学)、中村賢一(九州保健福祉大学)、磯田圭哉(林木育種センター)

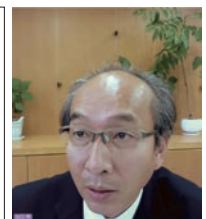
5. カギカズラの人工交配と凍結保存
遠藤圭太(林木育種センター)、小長谷賢一(森林バイオ研究センター)

6. カギカズラの葉のお茶の試作
野村茂広(三重農業研究所)

7. カギカズラの葉の成分分析
今井貴規・山本有菜・水谷仁哉(名古屋大学)

8. カギカズラの葉の機能性探索と安全性の評価
森田直樹・坂下真実・奥澤亜美(産業技術総合研究所)

9. 国産カギカズラのビジネス戦略
加藤宏明(伊勢くすり本舗株式会社)



事業概要説明中の森林バイオ研究センター 谷口センター長

発表後の質疑では、エチレンを用いたカギカズラの落葉処理後の品質に変化は無いが、種子の最も適した保存方法は何かなどについて質問がありました。

本セミナーを通じて、薬用樹木の利用に対する意見交換を踏まえながら、さらなる技術開発と普及を進めていく考えです。

(森林バイオ研究センター 小長谷賢一)